

新潟市教育相談センター
新潟市特別支援教育
サポートセンターだより

も え ぎ

第 126 号
令和 8 年 5 月 18 日
新潟市教育相談センター
新潟市特別支援教育サポートセンター
新潟市中央区西大畑町458番地1

私たちは
「つながる」「つながりつづける」
「つなぐ」ことを大切にします



新潟市教育相談センター
所長 藤塚 静 治

新潟市中央区西大畑町にある新潟市教育相談センターには、不登校児童生徒が通う子ども支援室「ぐみの木教室」が開設されています。昨年度末、子ども支援室終了式がありました。その際、通室児童生徒は「ぐみの木教室への手紙」を書きました。ある通室生の手紙を紹介します。

私はぐみ（ぐみの木教室の愛称）で過ごしたこの一年間でたくさんの変化がありました。一番は、いろいろな人と話したり遊んだりできるようになったことです。私は、ぐみに来るのが楽しくなりました。また、ぐみで挑戦できたこともたくさんありました。調理実習や栽培活動は楽しい思い出です。学校の課題にも取り組みました。

今年一年間、一緒に遊んでくれたみなさん、話しかけたり活動に誘ってくれたりしたみなさん、ありがとうございました。私にとって、ぐみはとても居心地のよいところになりました。来年も、ぐみに来ながらたくさんの方に挑戦したいです。

自らの成長を「変化」という言葉を用いて、実感していました。他の通室生も同様に自身の成長を振

り返っていました。また、どの通室生もぐみの木教室の通室生や職員との関わりを通して、少しずつ自信が付き、通室できたことに感謝の気持ちを表していました。

子ども支援室では、職員が温かく寄り添いながら通室生と一緒に適切な目標を立て、実現できるように支えています。

当センターは、不登校支援として、他にも「夜間『学習・進路相談室』」と「訪問教育相談」があります。夜間「学習・進路相談室」では、夕方以降、ひたむきに学習に励む通室生徒に対して、時には懇切丁寧に、時にはじっと見守りながら学習支援を行っています。訪問教育相談は、たとえ訪問したその日に会えなくても、相談員自らが訪問できてよかったというさり気ないメッセージを残し、再び次回、足を運びます。

これらの支援へとつなぐ最初の相談窓口である「教育相談」は、教育や養育に関する悩みや困り事について丁寧に聴き、真摯に受け止め、寄り添い続けます。各区教育相談室（4ページをご覧ください）も同じ対応を行っています。

学校や関係機関におかれましては、対策会議を経て対応されても支援がうまく進まないケースがあるかと思えます。そのときは、当センターの活用を是非ともご検討ください。私たちは、子どもと保護者に寄り添う「伴走者」に徹し、相談者と「つながる」「つながりつづける」ことを、そして学校・社会・未来へと「つなぐ」ことを大切に、支援を続けてまいります。



令和8年度 各小・中学校に参加をお願いする事業

(1) 教育相談研究会

令和8年11月11日（水）

場所：新潟市教育相談センター

(2) 作品展

令和9年1月22日（金）

場所：新潟市教育相談センター



～ 教育相談センター ～ 〈中央区・東区・西区〉

【教育相談センターへの手続き】



保護者は、子ども支援室、夜間「学習・進路相談室」の通室、訪問教育相談の利用が決まった場合、「願い書」を作成し、学校へ提出します。

学校は、願い書を受け取ったら、「依頼書」と「児童生徒理解・教育支援シート」をC4thで教育相談センター所長補佐宛に送ります。

※ 各区教育相談室でも、相談・子ども支援室・訪問教育相談の手続きは同じです。詳しくは、当センターのチラシ、またはホームページをご覧ください。

学校支援(学校相談)

新潟市内の学校関係者を対象として、不登校・いじめ・集団不応・学級経営などに関する相談に応じます。担任の相談、支援の仕方についての相談やケース会議等の参加、「教育相談」全般にかかわる校内研修など、学校のニーズに応じた形で支援を行います。

※ 願い書、依頼書、学校相談依頼票や保護者に対するチラシは、C4th 書庫からダウンロードできます。



遊ぶデー 『楽しさを共有する体験を』

遊ぶデーでは、センターで相談を継続している児童生徒とその担当職員と一緒に参加します。まずは、相談で職員と1対1で信頼関係を築き、その安心感を担保に苦手な集団活動に挑戦し、他者と関わって遊ぶことの楽しさを感じてほしいというねらいです。

木曜日に隔週で開催しており、今年度は年間18回の開催予定です。1回の活動は13時～14時半(片付けを含む)までで、身体を動かす遊び(ACTIVE)や頭を使ったゲーム(SMART)を用意しています。何で遊ぶか、その遊びに参加するかどうかなど、子ども自身が選べるよう職員がサポートします。また、年に2回、動画鑑賞のような静的活動の時間を設定し、場を共有することの心地よさを感じてもらおう取組も行っています。

アトリエみつけ!

絵やイラストを主体にし、折り紙や工作など参加者の作成したい活動に取り組んでいます。どの子どもも、活動時は作品制作に没頭し、夢中で取り組んでいます。終了時には、参加者同士、作品を見せ合ったり、ちょっとした会話をしたりといった姿があります。また、講師からチョークアートを教えてもらう機会もあります。

1時間半の時間はあっという間ですが、参加者の表情には変化が見られ、満足した様子が伝わってきます。ご興味のある方、まずは参加してみてください。

まんがギャラリー

年に1回発行します。センターを利用するすべての子どもが応募できます。これまでの冊子(待合室にあります)をご覧になり、ぜひご応募ください。応募の詳細は担当相談員にお問い合わせください。

～ 各区教育相談室 ～

【北区教育相談室】子ども支援室「さわやかルーム」



「キタくなる相談室、行キタくなる多様な未来へ」を目標に、子どもの心に寄り添った丁寧な支援に努めます。子どもたちが安心できる居場所をつくるとともに、学校と連携し、一步を踏み出すエネルギーを蓄えることのできる相談室を目指します。

【江南区教育相談室】子ども支援室「そよ風ルーム」



「笑顔輝く相談室」をスローガンに、子どもの心に寄り添い、また家庭・学校と連携を図り、丁寧な教育相談に努めます。恵まれた施設や地域環境を生かした学習や体験活動を心掛け、子どもたちが社会的生活力を高めていけるように支援します。

【秋葉区教育相談室】子ども支援室「レインボールーム」



「子どもの居場所となり、心の回復を図る相談室」図書館に併設された、恵まれた環境にある相談室です。職員は「子どもの成長を支える大人」としての役割に徹し、関わる子どもたちが心理的に成長して自立した青年になることを目指して支援します。

【南区教育相談室】子ども支援室「おおぞら教室」



みんな なかよく みらいに 向かって
子どもたちにとって、安心して力を蓄えていける相談室を目指します。子どもや保護者が気軽に相談できるよう、学校の皆様のお力添えをお願いします。写真のように全員で、力を合わせて支えていきます。

【西蒲区教育相談室】子ども支援室「スペース「レスト」」



西蒲区教育相談室は、弥彦山を間近に望む西蒲区役所岩室出張所の2階にあります。『子どもに元気と笑顔を』をキャッチフレーズに、子どもや保護者に寄り添い、共に活動することで「生き生きと魅力あふれる相談室」を目指していきます。

各区教育相談室 所在地一覧

相談室名	所在地	電話番号
北区教育相談室	☎950-3343 北区上土地亀941-2	025-387-3709
江南区教育相談室	☎950-0121 江南区亀田向陽2-1421-5	025-382-1156
秋葉区教育相談室	☎956-0863 秋葉区日宝町6-2 (新津図書館2階)	0250-23-0101
南区教育相談室	☎950-1294 南区味方1544 (味方出張所1階)	025-373-4895
西蒲区教育相談室	☎953-0132 西蒲区西中860 (岩室出張所2階)	0256-82-1800